

福原県いわき市三和地区の地域おこし協働隊かわら版

似顔絵は、佐野の早子様制作

第26号(最終号)
発行日:2024年7月10日
発行所:三和支所
地域おこし協働隊
溝端 宏幸
問合せ先:0246-86-2111
(三和支所)

みわっかん



2年4ヶ月間、お世話になりました!

2024年8月から栃木県の小山市役所で正規職員として働くことが決まり、任期途中ですが、今月末で協働隊を終えることとなりました。

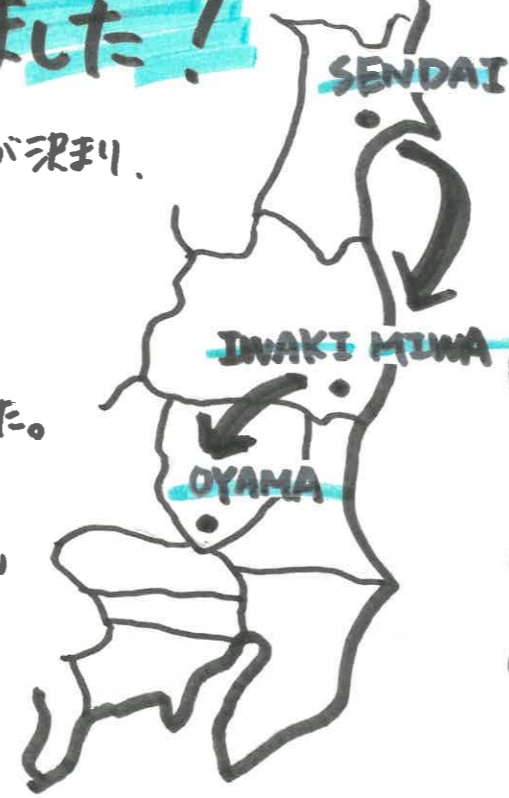
2022年4月に仙台から三和にきました。何も知らない、知り合いもない中でのスタートでした。何をしたらいいかわからず、このままでは給料泥棒ではなかと不安でした。前々支所長からいただいた「三和に来て楽しんでる姿を地域の方に見せるだけで、地域おこしになる」という言葉を心に刻みながら、三和のいいところ探しと発信を続けました。その中で様々な地域活動をされている個人様、団体様からお話のお声がけをいただき、徐々に活動の幅が広がり、裏面のような活動を実施することができました。

三和のお役に立てたでしょうか? 税金のムダづかいにはならなかったでしょうか? 自身は1年目の終わり頃(「かあちゃんの手紙」が始まったころ)から、地域の方の思いを形にする裏方の仕事を今後とも長く続けたいと思うようになりました。

2年目は、行政書士の試験に挑戦したり(合格しました)、他の自治体職員の方が参加する研修会に参加したりするなど秋実裏に準備していました。年齢制限等で公募試験が受けられる自治体が少ない中、最初にご縁をいただいた小山市で決めさせていただきました。

新たな道へ進むきっかけを与えて下さった三和の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。「新しいふるさと」ができました。

三和を離れてはしましますが、今後も二でのつながりを大切にさせていただきます。秋の三和の里フェスティバルにはお客さんとして来てさせていただきますと思っています。今後ともよろしくお願いたします。



溝端 宏幸

ふれあい市場の皆様

着任初日からかあい市場にいらしていただき、たくさんのおいしい平料理を食べていただき最高の居場所でした。

食べたもの、食べてほしいものを作って売る私が仙台で農業をやっていた頃の夢そのものの方たちで、定年退職後に農業を再開したらぜひ皆さんのような農家になりたいです。

「かあちゃんの手紙」 お友だちの皆様

地域の要望に応えるから発展し続ける皆さん、お揃いの帽子を買ってやらわちせしているかあちゃんたちの様子を見て取り組んでよかったと思いました。無理はせず、これからもおいしいお友だちを作り続けて下さい。

三和町商工会青年部の皆様

同世代の皆様、学組会のような気軽で前向きな会議は毎回とても楽しかったです。

「ほたるのさんぽみち」が誕生する様子を間近で体験できたことも私にとっての宝です。これからの三和を支える皆さんに負けなよう新天地で頑張りたいと思います。

ふれあい市場 トミ子さん、園分さん

最近近くで一緒にいらしたお二人28歳で50代の母と80代の祖母を亡くした私にとってお二人は空白を埋める家族のような存在でした。甘えさせていただきありがとうございました。また遊びに来ます。

三和小中学校の皆さん

学校の教壇にも立ちみたいと仙台で塾講師をしていた頃の強い夢を思いがけず二で叶えることができました。特に中2の皆さん、授業と一緒に盛り上げてくれてありがとう。皆さんが大人になってどんな活躍をされるか楽しみにしています。

三和支所の皆様

最終面会の日に見た小山市役所の窓口の方々の雰囲気、三和支所に似せていてこれが最後の決定打になりました。支所の多種多様な業務をこなしながら地域の方と真摯に対話される姿を日々目に、これから小山市に向き合ってください。ありがとうございました。

930707の皆様ありがとうございました。

< SNS等について >

これまでご覧いただきありがとうございました。管理者不在になる「Instagram」「ふれあい市場HP」は、先に閉鎖させていただきます。この2年間で三和の情報発信を担っている団体さんがとても増えました。今後はぜひそちらをご覧ください。

